

*** Cambridge 大学教授 Dr. Stratton 氏来日記念写真—その 2—**

アーカイブ新聞第947号に「Cambridge 大学教授 Dr. Stratton 氏来日記念写真」という記事を書いた。写真1がその写真である。



写真1 Dr.Stratton 来日記念写真

この記事に対してアーカイブ新聞の読者である小川誠治氏から「この写真は、1936年6月19日の北海道皆既日食の帰途、同年7月6日、日本数学物理学会の講演会があり、この折に撮影したものと推定いたします。同博士は2回目の北海道皆既日食も見えなかったにも拘らず国内を精力的に講演されていたようです。射場情報のアーカイブ新聞に記録された写真もその一環と思われます。なお、同博士一行の国内での講演経路については良くわかりません。ひょっとしたら、研究者がいるかもしれません。」という情報をいただいた。

この1936年6月19日の北海道であった皆既日食には東京天文台からも観測隊が派遣されており、国立天文台太陽観測所のホームページには、

1936 (昭和11) /6/19 北海道北見

関口鯉吉、早乙女清房、野附誠夫、藤田良雄 (観測地：女満別)

橋元昌矣、奥田豊三（観測地：中頓別）

及川奥郎（観測地：訓子府）

窪川一雄、竹田吉雄（観測地：紋別）

服部忠彦（観測地：斜里）

結果：薄曇り、直接写真、スペクトル、アインシュタイン効果と記されている。

小川氏によれば、アーカイブ新聞第 947 号に掲載した「Cambridge 大学教授 Dr. Stratton 氏来日記念写真」は、1936 年 7 月 6 日の日本数学物理学学会の講演会の記念写真であろうというのである。この講演については天文月報第 30 巻第 2 号に Dr. Stratton 氏の記事として「F・J・M・ストラットン：一九三四年ヘルクレス座新星」という論議が掲載されており、「本篇は昭和 11 年 7 月 6 日東京帝国大学に於ける日本数学物理学学会の講演会に於いて為された講演の筆記であって、日本数学物理学学会誌第 10 巻第 5 号に掲載されたものを同会の許可を得て転載したものである」と前書きにある。このことから、アーカイブ新聞第 947 号に掲載した「Cambridge 大学教授 Dr. Stratton 氏来日記念写真」は、この講演会の記念写真であろう。

また、小川氏の言う、この「射場情報のアーカイブ新聞に記録された写真」というのは、アーカイブ新聞（2015 年 11 月 10 日 第 863 号）の「広瀬アルバム（その 2、写真 16 枚）（東京天文台 100 周年記念誌資料 2-29-2）」の記事の、写真 7 の中央が Dr. Stratton 氏、左の人物が射場保昭氏である。東京で講演された Dr. Stratton 氏は京都、奈良にも足を延ばされ、射場保昭氏が奈良を案内した際の写真であろう。

アーカイブ新聞第 863 号の関係する記事は下記のとおりである。



写真 7

写真7は貴重な写真で、和服姿の人物は射場保昭氏である。京都大学名誉教授竹本修三によれば、この写真は奈良の春日神社第二鳥居の前で、中央がストラトン、右がロイヅ氏とあるが、広瀬メモには写真8のように書かれている。

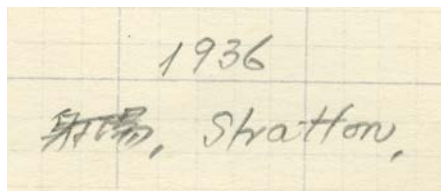


写真8

この写真に写っている射場保昭氏は、神戸に当時日本有数の望遠鏡を備えた射場観測所を持っており、昭和20年2月、東京天文台本館焼失を受けて、昭和21年に観測所所有の一切を東京天文台に寄贈したのは、この広瀬先生との関係からだったと思われる。

アーカイブ新聞第947号の「Cambridge 大学教授 Dr. Stratton 氏来日記念写真」という記事に関係したことがいくつか判明した。

- 1) アーカイブ新聞第947号に掲載した Dr. Stratton 氏来日記念写真は1936年7月6日の学士会で開催された日本数学物理学会で講演された Dr. Stratton 氏を囲んだ記念写真であったこと。
- 2) Dr. Stratton 氏は1936年6月19日の北海道における皆既日食の観測に来日されていて、その帰路、東京学士会に於いて日本数学物理学会で講演され、その記事が天文月報第30巻第2号に「一九三四年ヘルクレス座新星」として掲載されたこと。
- 3) Dr. Stratton 氏は京都、奈良にも行かれ、射場保昭氏が案内された写真が残っていること。

このように、アーカイブ新聞に Dr. Stratton 氏のことが掲載されたことにより、これらに関連付けて判明したことは編集者としては喜ばしいことである。情報を寄せていただいた小川氏にお礼を申し上げる。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp